

**2014年サッカーワールドカップブラジル大会における全スタジアムからの
放送用映像伝送装置として「MD8000」が採用されました
～先進のIP技術が4大会連続で高精細映像を現地から全世界に向けて発信～**

株式会社メディアグローバルリンクス(以下「メディアグローバルリンクス」、代表取締役社長 林 英一)は、2014年サッカーワールドカップブラジル大会の全スタジアムと国際放送センターとを結ぶ放送用ネットワークにおける映像伝送装置として「MD8000」が採用されたと発表しました。

サッカーワールドカップのテレビ中継は、世界で最も多くの人に視聴されるイベントです。前回2010年の南アフリカ大会は、世界のすべての国と地域で放送され、全世界の人口の約半分にあたる32億人がテレビ中継を見ました。その映像伝送にはその時点での世界最高水準の映像品質と安全性が要求されます。

メディアグローバルリンクスの映像伝送装置は、2002年のワールドカップ日韓大会において初めて採用されて以来、2006年ドイツ大会、2010年南アフリカ大会でも、それぞれ開催国の通信事業者によって採用され、全世界が注目する放送用映像を届けてきました。この度2014年ブラジル大会においても採用されることが決まったことで、メディアグローバルリンクスは4大会連続して開催国内の放送用ネットワークにおける映像伝送装置を提供することになりました。

「MD8000」は、高品質のHD映像を高い信頼性と安全性を保ったままIP伝送できる装置です。発売以来、その機能を進化させ続けており、常に最高水準の要望に応え続けてきました。ワールドカップをはじめとする数多くの世界的なスポーツイベントの映像伝送装置として採用された実績があり、世界の主要国で放送用ネットワークのインフラを担っています。

- 本件についてのお問い合わせ先:
株式会社メディアグローバルリンクス
TEL 044-589-3440
E-mail ir@medialinks.co.jp